

2014年1月10日

在日米海軍厚木航空施設司令官  
スティーブン・J・ウィーマン大佐 殿

厚木基地爆音防止期成同盟  
委員長 大波修二

第四次厚木爆音訴訟団  
団長 藤田榮治

神奈川平和運動センター  
代表 宇野峰雪

原子力空母の母港化に反対し基地のない  
神奈川をめざす県央共闘会議  
代表 二見 昇

## 抗議

1月9日午後2時半頃、綾瀬市寺尾の住宅密集地に米戦闘攻撃機F A 1 8 Eスーパーホーネットの金属製部品の落下事故が起こった。落下部品は駐車中の車の窓ガラスを突き破り、幸い人的被害はなかったものの、一歩間違えば人命に関する重大な事故といえる。

しかも神奈川県内では、一昨年に EA6B プラウラーが機体の一部を落下させ、また、昨年末にも三浦半島でヘリコプターが墜落事故を起こした矢先の事故であり、私たちはこうした事態を深刻に受け止めざるを得ない。

これまで事故が発生するたび、安全対策の確立や整備点検の徹底を繰り返し要請してきたにもかかわらず、今回こうした事故が発生したことは、米軍機の安全管理に対する住民の不安と不信を高めるものである。

貴職は直ちに事故原因の究明を行い、周辺住民にその内容を公表するとともに、再発防止策と安全管理が徹底されるまで、一切の飛行を中止するよう強く申し入れるものである。

## 記

1. 今回の事故の原因を早急に究明し、実効性のある再発防止策を確立し、速やかに公表するとともに、安全性が確立されるまで一切の飛行を中止すること。
2. 航空機の整備点検を徹底し、安全管理に努めること。

以上